

ガイアナ内政、経済、外交月間報告
(2024年3月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

3月のガイアナの内政、経済、外交月間報告(カリコム動きを含む)は以下の通り。

1 概況

- 政府は天然資源基金(NRF)から2.5億米ドルを引き出し国債整理基金に移転。
- エクソンモービル社は、スタブロック鉱区におけるブルーフィン坑井にて新たな油田を発見。
- ベネズエラ政府がエセキボ地域に新たにベネズエラの州を創設すると宣言したことに対し、ガイアナ政府はベネズエラが両首脳間のアーガイル宣言を放棄したことに遺憾の意を示すと同時に、両国の国境問題は国際司法裁判所(ICJ)で解決されるべきであると改めて主張。
- アリ大統領はガイアナ訪問中のセジュールネ・フランス外相と会談。両国は関係強化のため、2025年に在ガイアナ・フランス大使館を開設することを発表。
- カリコムはジャマイカの首都キングストンにてハイチ情勢に関する会合を開催。暫定大統領評議会の設立と暫定首相の指名をもってアリエル・アンリ首相の辞任を認めた。
- バーネット・カリコム事務局長は日本政府による招聘を受け2日間にわたり訪日し、日・カリコム交流年2024レセプションに出席した他、上川外相他と会談を実施。

2 内政

- (16日報道)国連開発計画(UNDP)が発表した2023~2024年度の人間開発指数(HDI)において、ガイアナは0.742を記録し、193か国・地域の内95位となり、2022年度の108位から順位を上げた。
- (25日報道)英Utility Bidder社が実施したプラスチック汚染に関する調査において、ガイアナは国民一人あたりの海洋プラスチック廃棄物が年間35.2キロであり、世界で6番目に排出量が多い国であることが判明。

3 経済

- (10日報道)中国はガイアナ保健省に対し、10万米ドル相当の子宮頸がん

検診関連の医療機材を供与。

- （14日報道）政府は天然資源基金（NRF）から2.5億米ドルを引き出し国債整理基金に移転。2024年はNRFから総額約15.86億米ドルの引き出しが国会で認められている。
- （16日報道）エクソンモービル社は、スタブロック鉱区におけるブルーフィン坑井にて新たな油田を発見。
- （16日報道）ガイアナ国防軍の能力強化を目的に、ガイアナ政府とインド輸出入銀行は2,327万米ドルの融資枠契約に調印。同融資でガイアナに2機の航空機が調達される予定。
- （26日政府発表）ガイアナ政府と中国の江蘇スメックグループ有限公司（SUMEC）は、ガイアナ実用規模太陽光発電プログラム（GUYSOL）として第2、5、6地区に太陽光発電所を建設するため、3,800万米ドルの契約を締結。同事業は、米州開発銀行（IDB）が管理するガイアナREDD+投資基金を通じて資金提供される。

4 外交

- （1日政府発表）アリ大統領はセントビンセントで開催されたCELAC首脳会合に出席。演説ではイスラエル・パレスチナにおける即時停戦を呼びかけるとともに、エセキボ地域にかかるガイアナ・ベネズエラ情勢、気候変動やエネルギー・食糧・栄養安全保障等におけるCELACの役割、及び気候変動の緩和策及び適応策における森林保全の重要性等に言及。
- （22日政府発表及び報道）ベネズエラ政府がエセキボ地域に新たにベネズエラの州を創設すると宣言したことに対し、ガイアナ政府はベネズエラが両首脳間のアーガイル宣言を放棄したことに遺憾の意を示すと同時に、両国の国境問題は国際司法裁判所（ICJ）で解決されるべきであると改めて主張。
- （26日政府発表、27日報道）アリ大統領はガイアナ訪問中のセジュールネ・フランス外相と会談し、国防、気候変動、食糧安全保障、インフラ、技術、観光の分野での関係深化を目指すことに合意。さらに両国は関係強化のため、2025年に在ガイアナ・フランス大使館を開設することを発表。フランスは同国に大使館を置く初のEU加盟国となる。

5 カリコム

- （5日ガイアナ報道）カリコム事務局と米国国際開発庁（USAID）は、カリコム地域のサイバーセキュリティ能力強化のため、サイバー・レジリエンス戦略2030プロジェクトを発足。
- （6日ガイアナ報道）カリコム地域の食糧安全保障強化のため、ニュージーラ

ンド政府は160万米ドルの無償資金協力プロジェクト「カリコム・ブースト：農業における女性と若者」に署名。同プロジェクトは、カリコム加盟10か国における47の女性と若者の農民グループを対象に、持続可能な農業生産を通じて気候変動に対応した農業の促進を目指す。

●（11日カリコム発表）カリコムはジャマイカの首都キングストンにてハイチ情勢に関する会合を開催。暫定大統領評議会の設立と暫定首相の指名をもってアリエル・アンリ首相の辞任を確認。

●（12日カリコム報道）ラテンアメリカ開発銀行（CAF）は、新たにドミニカ国、グレナダ及びバハマをシリーズC加盟国として迎え入れることを承認。

●（26日カリコム発表、27日ガイアナ報道）バーネット・カリコム事務局長は日本政府による招聘を受け2日間にわたり訪日し、日・カリコム交流年2024レセプションに出席した他、上川外相他と会談を実施。